

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ
 コード番号 8354 URL <http://www.fukuoka-fg.com/>
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 谷 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 吉田 泰彦
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日 特定取引勘定設置の有無 有

上場取引所 東 大 福

TEL 092-723-2502

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	68,968	—	10,371	—	6,354	—
20年3月期第1四半期	59,775	—	10,011	—	5,561	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	7.42	—
20年3月期第1四半期	7.52	7.31

(注)当社は、平成19年4月2日設立のため、前期の対前年同四半期増減率についても記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	11,674,188	591,543	4.3	585.41
20年3月期	11,363,902	592,516	4.5	586.47

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 510,618百万円 20年3月期 511,672百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)連結自己資本比率(第二基準)は、確定次第別途開示いたします。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.50	—	2.50	7.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注2)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、2ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	137,000	11.0	26,000	2.2	13,000	2.3	15.02
通期	276,000	△0.6	53,000	104.9	25,000	—	28.89

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 859,761,868株 20年3月期 859,761,868株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 3,529,685株 20年3月期 3,512,044株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 856,238,918株 20年3月期第1四半期 738,864,466株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する関係基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用方針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想値と異なる結果となる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

■ 第一種優先株式

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
21年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
21年3月期(予想)					

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結経常収益は、貸出金利息等資金運用収益の拡大により689億6千8百万円となりました。連結経常収益の主な内訳は、資金運用収益が550億7千9百万円、役務取引等収益が110億2千8百万円、その他業務収益が15億4千8百万円、その他経常収益が12億3千9百万円となりました。なお、資金運用収益のうち、貸出金利息は428億8千6百万円、有価証券利息配当金は104億7千2百万円となりました。一方、連結経常費用は585億9千6百万円となりました。連結経常費用の主な内訳は、資金調達費用が127億3千4百万円、役務取引等費用が35億4千万円、その他業務費用が20億6千万円、営業経費が335億4千4百万円、その他経常費用が67億1千5百万円となりました。

この結果、連結経常利益は103億7千1百万円、連結四半期純利益は63億5千4百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 預金・譲渡性預金

預金は個人預金の増加等により9兆9,824億円となりました。譲渡性預金は5,029億円となりました。

(2) 貸出金

貸出金は地元企業を中心とした新規取引の開拓や総合取引の拡大に努め、また個人のお客様の住宅ローンをはじめとしたニーズにも積極的に応えいたしました結果、7兆9,499億円となりました。

(3) 有価証券

有価証券は安全性と収益性の両面に留意して投資の多様化を図りました結果、2兆5,041億円となりました。

(4) 資産運用商品

お客様の多様化する資産運用ニーズにお応えしました結果、3行合算で個人預かり資産残高は、1兆3,568億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

1. 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

2. 貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別で予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成20年3月期の予想損失率等を適用して計上しております。

3. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の処理

当社及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。なお、連結損益計算書上における法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・一部の連結子会社において保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)により算定しております。この変更により、税金等調整前四半期純利益は158百万円減少しております。

② ①以外の変更

・所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号平成19年3月30日)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号同前)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用できることになったため、当第1四半期連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。また、当該取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる連結貸借対照表等に与える影響は軽微であります。なお、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属する所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	501,981	347,944
コールローン及び買入手形	115,409	76,557
債券貸借取引支払保証金	20,278	—
買入金銭債権	166,530	174,736
特定取引資産	8,450	10,425
金銭の信託	—	3,524
有価証券	2,504,184	2,363,835
貸出金	7,949,966	7,977,486
外国為替	5,624	5,140
その他資産	116,196	126,470
有形固定資産	187,072	180,645
無形固定資産	187,508	189,400
繰延税金資産	62,122	63,082
支払承諾見返	87,530	88,845
貸倒引当金	△238,578	△244,105
投資損失引当金	△88	△88
資産の部合計	11,674,188	11,363,902
(負債の部)		
預金	9,982,401	9,837,935
譲渡性預金	502,969	269,481
コールマネー及び売渡手形	851	2,504
債券貸借取引受入担保金	36,819	42,371
特定取引負債	7	7
借入金	140,807	203,808
外国為替	475	782
短期社債	50,000	50,000
社債	134,471	133,796
その他負債	106,822	101,224
退職給付引当金	1,581	2,266
利息返還損失引当金	1,160	1,162
睡眠預金払戻損失引当金	3,585	3,838
その他の偶発損失引当金	84	272
再評価に係る繰延税金負債	32,779	32,779
負ののれん	296	307
支払承諾	87,530	88,845
負債の部合計	11,082,644	10,771,385
(純資産の部)		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金	104,695	104,697
利益剰余金	228,654	224,572
自己株式	△3,212	△3,206
(株主資本合計)	(454,936)	(450,862)
その他有価証券評価差額金	8,147	17,348
繰延ヘッジ損益	65	△4,008
土地再評価差額金	47,469	47,469
(評価・換算差額等合計)	(55,682)	(60,809)
少数株主持分	80,925	80,844
純資産の部合計	591,543	592,516
負債及び純資産の部合計	11,674,188	11,363,902

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
	金 額
経常収益	68,968
資金運用収益	55,079
(うち貸出金利息)	42,886
(うち有価証券利息配当金)	10,472
役務取引等収益	11,028
特定取引収益	71
その他業務収益	1,548
その他経常収益	1,239
経常費用	58,596
資金調達費用	12,734
(うち預金利息)	7,437
役務取引等費用	3,540
その他業務費用	2,060
営業経費	33,544
その他経常費用	6,715
経常利益	10,371
特別利益	1,403
特別損失	502
税金等調整前四半期純利益	11,272
法人税等	4,834
少数株主利益	83
四半期純利益	6,354

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考資料】

前年同四半期に係る連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月2日 至 平成19年6月30日)
	金 額
経常収益	59,775
資金運用収益	44,243
(うち貸出金利息)	33,001
(うち有価証券利息配当金)	10,161
役務取引等収益	9,726
特定取引収益	196
その他業務収益	4,218
その他経常収益	1,390
経常費用	49,763
資金調達費用	10,904
(うち預金利息)	4,748
役務取引等費用	2,591
特定取引費用	0
その他業務費用	2,974
営業経費	25,992
その他経常費用	7,299
経常利益	10,011
特別利益	14
特別損失	146
税金等調整前四半期純利益	9,880
法人税等	4,234
少数株主利益	84
四半期純利益	5,561

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【参考】

平成21年 3 月期 第 1 四半期決算短信

平成20年 8 月 8 日

会 社 名 株式会社 福岡銀行

代 表 者 取締役頭取 谷 正 明 (URL <http://www.fukuokabank.co.jp/>)

問合せ先責任者 執行役員経営管理部長 吉 田 泰 彦 TEL (092) 723-2622

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成20年 4 月 1 日～平成20年 6 月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年 3 月期第 1 四半期	49,004	—	12,577	—	7,446	—
20年 3 月期第 1 四半期	51,272	18.5	10,736	△16.8	6,336	△17.2

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
21年 3 月期第 1 四半期	8,519,123	468,814	4.9
20年 3 月期	8,095,508	466,659	5.1

(参考) 自己資本 21年 3 月期第 1 四半期 417,961百万円 20年 3 月期 415,887百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 平成21年 3 月期の連結業績予想 (平成20年 4 月 1 日～平成21年 3 月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第 2 四半期連結累計期間	96,900	△9.2	27,600	181.0	14,900	189.1
通期	195,000	△10.6	56,000	70.4	31,500	75.8

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想値と異なる結果となる可能性があります。

【四半期連結財務諸表】

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(1) 四半期連結貸借対照表

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	431,984	267,411
コールローン及び買入手形	115,409	48,557
債券貸借取引支払保証金	50,459	17,358
買入金銭債権	165,650	173,859
特定取引資産	8,211	9,749
有価証券	1,718,677	1,583,195
貸出金	5,771,379	5,733,703
外国為替	3,452	3,012
その他資産	93,230	107,394
有形固定資産	139,303	132,627
無形固定資産	9,376	9,510
繰延税金資産	25,666	26,824
支払承諾見返	66,483	62,728
貸倒引当金	△80,161	△80,424
資産の部合計	8,519,123	8,095,508
(負債の部)		
預金	6,953,822	6,801,098
譲渡性預金	410,124	224,412
コールマネー及び売渡手形	220,394	77,978
債券貸借取引受入担保金	36,819	42,371
特定取引負債	7	7
借入金	131,383	193,260
外国為替	441	759
社債	109,971	109,296
その他負債	83,337	79,053
退職給付引当金	460	459
利息返還損失引当金	1,119	1,115
睡眠預金払戻損失引当金	3,056	3,226
その他の偶発損失引当金	83	271
再評価に係る繰延税金負債	32,779	32,779
負ののれん	22	29
支払承諾	66,483	62,728
負債の部合計	8,050,308	7,628,849
(純資産の部)		
資本金	82,329	82,329
資本剰余金	60,587	60,587
利益剰余金	213,678	210,228
(株主資本合計)	(356,595)	(353,145)
その他有価証券評価差額金	13,830	19,281
繰延ヘッジ損益	65	△4,008
土地再評価差額金	47,469	47,469
(評価・換算差額等合計)	(61,365)	(62,742)
少数株主持分	50,853	50,772
純資産の部合計	468,814	466,659
負債及び純資産の部合計	8,519,123	8,095,508

(2) 四半期連結損益計算書

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
	金 額
経常収益	49,004
資金運用収益	38,730
(うち貸出金利息)	28,944
(うち有価証券利息配当金)	8,113
役務取引等収益	7,812
特定取引収益	58
その他業務収益	2,054
その他経常収益	348
経常費用	36,427
資金調達費用	9,966
(うち預金利息)	4,863
役務取引等費用	2,264
その他業務費用	861
営業経費	20,407
その他経常費用	2,926
経常利益	12,577
特別利益	-
特別損失	135
税金等調整前四半期純利益	12,441
法人税等	4,911
少数株主利益	84
四半期純利益	7,446

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考情報】

前年同四半期に係る連結損益計算書

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
経常収益	51,272
資金運用収益	37,156
(うち貸出金利息)	26,605
(うち有価証券利息配当金)	9,504
役務取引等収益	8,528
特定取引収益	196
その他業務収益	4,160
その他経常収益	1,230
経常費用	40,535
資金調達費用	9,943
(うち預金利息)	3,871
役務取引等費用	2,018
特定取引費用	0
その他業務費用	2,565
営業経費	19,892
その他経常費用	6,114
経常利益	10,736
特別利益	11
特別損失	133
税金等調整前四半期純利益	10,615
法人税等	4,194
少数株主利益	84
四半期純利益	6,336

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【参考】

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

会 社 名 株式会社 熊本ファミリー銀行

代 表 者 取締役頭取 鈴木 元

(URL <http://www.kf-bank.jp/>)

問合せ先責任者 経営管理部長 佐々木 二也

TEL (096) 385-1116

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,189	—	442	—	448	—
20年3月期第1四半期	8,741	0.3	591	—	544	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
21年3月期第1四半期	1,234,270		30,269		0.4	
20年3月期	1,220,826		30,369		0.4	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 5,267百万円 20年3月期 5,367百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間	17,300	△1.1	2,100	—	1,800	—
通期	35,000	0.2	3,800	—	500	—

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想値と異なる結果となる可能性があります。

【四半期連結財務諸表】

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(1) 四半期連結貸借対照表

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	22,591	25,230
コールローン及び買入手形	19,627	6,882
買入金銭債権	65	75
有価証券	227,735	227,029
貸出金	926,032	925,203
外国為替	930	613
その他資産	8,444	8,083
有形固定資産	19,116	19,024
無形固定資産	1,920	1,297
繰延税金資産	21,990	21,887
支払承諾見返	11,071	12,329
貸倒引当金	△25,256	△26,830
資産の部合計	1,234,270	1,220,826
(負債の部)		
預金	1,132,268	1,120,602
コールマネー及び売渡手形	-	10,000
債券貸借取引受入担保金	30,181	17,358
借入金	10,000	10,000
外国為替	27	6
社債	10,000	10,000
その他負債	8,159	7,837
退職給付引当金	5	24
利息返還損失引当金	6	2
睡眠預金払戻損失引当金	171	187
その他の偶発損失引当金	1	1
再評価に係る繰延税金負債	2,107	2,107
支払承諾	11,071	12,329
負債の部合計	1,204,000	1,190,457
(純資産の部)		
資本金	14,980	14,980
資本剰余金	6,249	6,249
利益剰余金	△14,481	△14,929
(株主資本合計)	(6,749)	(6,301)
その他有価証券評価差額金	△2,305	△1,758
土地再評価差額金	824	824
(評価・換算差額等合計)	(△1,481)	(△933)
少数株主持分	25,001	25,002
純資産の部合計	30,269	30,369
負債及び純資産の部合計	1,234,270	1,220,826

(2) 四半期連結損益計算書

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
	金 額
経常収益	8,189
資金運用収益	6,847
(うち貸出金利息)	6,102
(うち有価証券利息配当金)	637
役務取引等収益	1,098
その他業務収益	223
その他経常収益	20
経常費用	7,747
資金調達費用	1,194
(うち預金利息)	1,002
役務取引等費用	594
その他業務費用	736
営業経費	4,362
その他経常費用	860
経常利益	442
特別利益	127
特別損失	219
税金等調整前四半期純利益	350
法人税等	△ 97
少数株主利益	0
四半期純利益	448

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

【参考情報】

前年同四半期に係る連結損益計算書

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
経常収益	8,741
資金運用収益	7,214
(うち貸出金利息)	6,467
(うち有価証券利息配当金)	657
役務取引等収益	1,230
その他業務収益	141
その他経常収益	154
経常費用	8,150
資金調達費用	1,088
(うち預金利息)	876
役務取引等費用	597
その他業務費用	408
営業経費	4,677
その他経常費用	1,377
経常利益	591
特別利益	3
特別損失	12
税金等調整前四半期純利益	581
法人税等	37
少数株主利益	0
四半期純利益	544

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【参考】

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

会 社 名 株式会社 親和銀行

代 表 者 取締役頭取 鬼 木 和 夫 (URL <http://www.shinwabank.co.jp/>)

問合せ先責任者 執行役員経営管理部長 小 川 正 信 TEL (0956) 23-3579

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第1四半期	13,615 —	291 —	1,286 —
20年3月期第1四半期	14,327 △4.1	2,092 3.6	990 28.4

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,143,177	71,528	3.1
20年3月期	2,114,017	73,714	3.2

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 66,458百万円 20年3月期 68,644百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
第2四半期連結累計期間	25,000 △10.5	2,100 —	1,600 —
通期	50,000 △11.0	4,500 —	3,500 —

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想値と異なる結果となる可能性があります。

【四半期連結財務諸表】

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(1) 四半期連結貸借対照表

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	51,046	58,748
コールローン及び買入手形	199,915	106,591
買入金銭債権	814	801
商品有価証券	239	676
金銭の信託	—	3,524
有価証券	584,860	580,836
貸出金	1,333,936	1,399,872
外国為替	1,241	1,514
その他資産	11,654	8,448
有形固定資産	50,409	50,739
無形固定資産	1,171	1,259
繰延税金資産	24,192	24,176
支払承諾見返	16,972	13,792
貸倒引当金	△133,189	△136,875
投資損失引当金	△88	△88
資産の部合計	2,143,177	2,114,017
(負債の部)		
預金	1,901,999	1,921,357
譲渡性預金	92,844	45,068
借入金	10,806	11,841
外国為替	6	16
社債	15,000	15,000
その他負債	16,237	15,057
退職給付引当金	3,957	4,273
睡眠預金払戻損失引当金	357	423
再評価に係る繰延税金負債	13,194	13,194
負ののれん	274	277
支払承諾	16,972	13,792
負債の部合計	2,071,648	2,040,302
(純資産の部)		
資本金	93,781	93,781
資本剰余金	56,249	56,249
利益剰余金	△95,194	△96,480
(株主資本合計)	(54,837)	(53,550)
その他有価証券評価差額金	△5,938	△2,466
土地再評価差額金	17,560	17,560
(評価・換算差額等合計)	(11,621)	(15,094)
少数株主持分	5,069	5,069
純資産の部合計	71,528	73,714
負債及び純資産の部合計	2,143,177	2,114,017

(2) 四半期連結損益計算書

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
	金 額
経常収益	13,615
資金運用収益	9,956
(うち貸出金利息)	(8,112)
(うち有価証券利息配当金)	(1,491)
役務取引等収益	2,227
その他業務収益	82
その他経常収益	1,349
経常費用	13,324
資金調達費用	1,956
(うち預金利息)	(1,574)
役務取引等費用	749
その他業務費用	889
営業経費	7,045
その他経常費用	2,682
経常利益	291
特別利益	1,275
特別損失	134
税金等調整前四半期純利益	1,432
法人税等	146
少数株主利益	0
四半期純利益	1,286

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考情報】

前年同四半期に係る連結損益計算書

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
経常収益	14,327
資金運用収益	11,491
(うち貸出金利息)	(9,356)
(うち有価証券利息配当金)	(1,794)
役務取引等収益	2,411
その他業務収益	348
その他経常収益	76
経常費用	12,235
資金調達費用	1,987
(うち預金利息)	(1,396)
役務取引等費用	671
その他業務費用	244
営業経費	7,048
その他経常費用	2,284
経常利益	2,092
特別利益	200
特別損失	69
税金等調整前四半期純利益	2,223
法人税等	1,233
少数株主損失	0
四半期純利益	990

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

平成20年度第1四半期 決算説明資料

～補足説明～

- 本説明資料では、各計数の定義を次のとおりとしております。

【FFG連結】	:ふくおかフィナンシャルグループ連結の計数
【3行グループ合算】	:福岡銀行グループ、熊本ファミリー銀行グループ、親和銀行グループの連結計数を単純合算した計数
【3行合算】	:福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行の単体計数を単純合算した計数
【3行合算+分割子会社】	:【3行合算】と親和コーポレート・パートナーズを単純合算した計数
【福岡銀行連結】	:福岡銀行グループ連結の計数
【熊本ファミリー銀行連結】	:熊本ファミリー銀行グループ連結の計数
【親和銀行連結】	:親和銀行グループ連結の計数
【福岡銀行単体】	:福岡銀行単体の計数
【熊本ファミリー銀行単体】	:熊本ファミリー銀行単体の計数
【親和銀行単体】	:親和銀行単体の計数
【親和銀行単体+分割子会社】	:【親和銀行単体】と親和コーポレート・パートナーズを単純合算した計数
- 平成20年6月末の自己資本比率につきましては、現在算定中であり、確定次第別途開示いたします。

あなたのいちばんに。

1. 損益の状況

FFG連結

参考

3行グループ合算

(単位:億円)

	平成20年度 第1四半期	平成19年度 第1四半期	前年同期比	【参考】 平成20年3月期	平成20年度 第1四半期	前年同期比
経常収益【2,760】	690	598	92	2,778	708	△35
業務粗利益	494	419	75	1,783	499	△35
資金利益	423	333	90	1,507	424	△4
役務取引等利益	75	71	4	270	75	△14
特定取引利益	1	2	△1	4	1	△1
その他業務利益	△5	12	△17	2	△1	△16
うち国債等債券損益	△2	1	△3	△79	△2	△3
経費(除く臨時処理分)	330	257	73	1,116	312	△2
①一般貸倒引当金繰入額	△48	△10	△38	△123	△48	△37
業務純益	212	172	40	790	235	4
コア業務純益	166	161	5	746	189	△30
臨時損益等	△108	△72	△36	△532	△102	△5
②不良債権処理額	106	28	78	433	106	59
③特定海外債権引当勘定繰入額	—	△0	0	△1	—	0
(信用コスト①+②+③-④)	(45)	(18)	(27)	(292)	(45)	(11)
株式等関係損益	5	△52	57	△85	11	63
その他臨時損益等	△7	9	△16	△14	△6	△9
経常利益【530】	104	100	4	259	133	△1
特別損益	9	△1	10	△34	9	9
④うち償却債権取立益	13	0	13	17	13	11
税引前四半期(当期)純利益	113	99	14	225	142	8
四半期(当期)純利益【250】	64	56	8	13	92	13

(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) 「FFG連結」の平成19年度第1四半期には、親和銀行及びその関連会社の損益は含まれておりません。

(注3) コア業務純益(166億円) = 業務純益(212億円) + 一般貸倒引当金繰入額(△48億円) - 国債等債券損益(△2億円)

(注4) 【 】は、平成20年5月14日に発表した平成20年度通期の業績予想。

■業績サマリー

経常収益 690億円

年度計画進捗率 25.0%

- 経常収益は、貸出金利息等資金運用収益の拡大に努めた結果、690億円となりました。

コア業務純益 166億円

- コア業務純益は、役務取引等利益の伸び悩みを経費削減等によるカバーを図った結果、166億円となりました。

経常利益 104億円

年度計画進捗率 19.6%

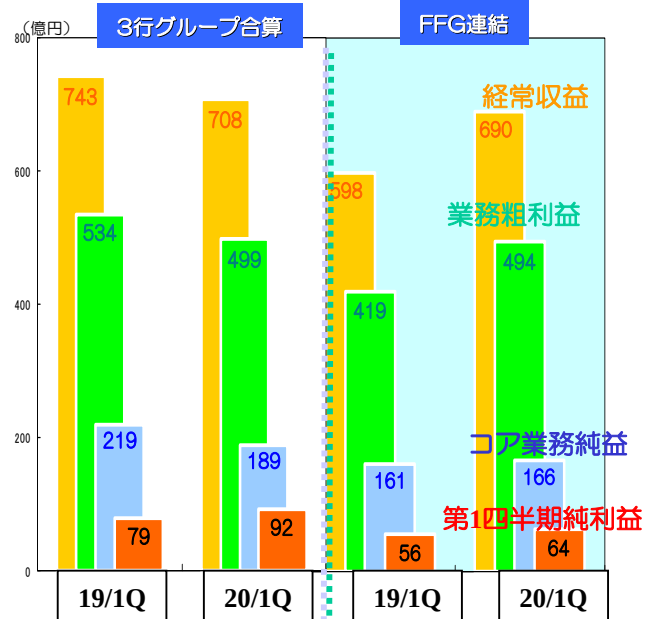
- 経常利益は、信用コストが増加したものの株式等関係損益の改善等もあり、104億円となりました。

四半期純利益 64億円

年度計画進捗率 25.6%

- 四半期純利益は、上記要因に加え特別利益として償却債権取立益13億円を計上したこと等により、64億円となりました。

■ 損益の推移



(注) 親和銀行及びその関連会社は、平成19年9月28日にFFGの連結対象子会社となりました。そのため、「FFG連結」の平成19年度第1四半期には、親和銀行及びその関連会社の損益は含まれておりません。

福岡銀行単体

(単位:億円)

	平成20年度 第1四半期	平成19年度 第1四半期	前年同期比	(参考) 平成20年3月期
経常収益 【1,900】	474	501	△27	2,127
業務粗利益	329	334	△5	1,258
資金利益	284	269	15	1,083
役務取引等利益	50	59	△9	193
特定取引利益	1	2	△1	4
その他業務利益	△5	4	△9	△21
うち国債等債券損益	△2	1	△3	△55
うち外為売買損益	2	1	1	15
うち金融派生商品損益	△5	2	△7	17
経費(除く臨時処理分)	188	191	△3	728
① 一般貸倒引当金繰入額	△8	△14	6	△72
業務純益	148	157	△9	603
コア業務純益 【620】	143	142	1	585
臨時損益等	△33	△59	26	△306
② 不良債権処理額	29	16	13	166
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	—	△0	0	△1
(信用コスト①+②+③)	(21)	(2)	(19)	(93)
株式等関係損益	0	△51	51	△150
その他臨時損益等	△4	8	△12	10
経常利益 【530】	115	98	17	297
特別損益	△1	△1	△0	△25
税引前四半期(当期)純利益	114	97	17	272
四半期(当期)純利益 【300】	69	58	11	174

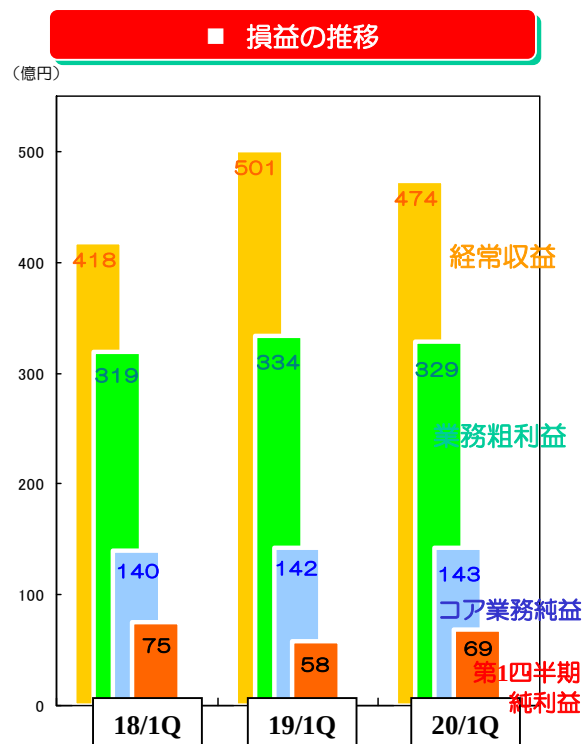
(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(143億円) = 業務純益(148億円) + 一般貸倒引当金繰入額(△8億円) - 国債等債券損益(△2億円)

(注3) 【 】は、平成20年5月14日に発表した平成20年度通期の業績予想。

■業績サマリー

経常収益 474億円	年度計画進捗率 24.9%
経常収益は、役務収益等の減少を主因に前年同期比▲27億円の474億円となりました。	
コア業務純益 143億円	年度計画進捗率 23.0%
コア業務純益は、貸出金利息の増加等により資金利益は増加したものの、役務取引等利益の減少、CDOの評価損(7億円)の計上により前年同期比+1億円の143億円となりました。	
経常利益 115億円	年度計画進捗率 21.8%
経常利益は、信用コストが増加したものの株式減損額の減少等により、前年同期比+17億円の115億円となりました。	
四半期純利益 69億円	年度計画進捗率 23.0%
四半期純利益は、上記要因により前年同期比+11億円の69億円となりました。	



熊本ファミリー銀行単体

(単位:億円)

	平成20年度 第1四半期	平成19年度 第1四半期	前年同期比	(参考) 平成20年3月期
経常収益 【350】	84	85	△1	351
業務粗利益	62	64	△2	261
資金利益	58	58	0	237
役務取引等利益	5	6	△1	24
その他業務利益	△1	△0	△1	△0
うち国債等債券損益	—	0	△0	△0
うち外為売買損益	1	0	1	2
うち金融派生商品損益	△1	0	△1	△2
経費(除く臨時処理分)	42	45	△3	179
① 一般貸倒引当金繰入額	△6	2	△8	△5
業務純益	27	17	10	87
コア業務純益 【90】	21	19	2	82
臨時損益等	△19	△13	△6	△185
② 不良債権処理額	16	10	6	144
(信用コスト①+②-③)	(9)	(11)	(△2)	(139)
株式等関係損益	△1	△1	0	△22
その他臨時損益等	△3	△3	△0	△20
経常利益 【38】	7	4	3	△99
特別損益	1	△0	1	△5
③ うち償却債権取立益	1	0	1	0
税引前四半期(当期)純利益	8	4	4	△103
四半期(当期)純利益 【5】	8	4	4	△156

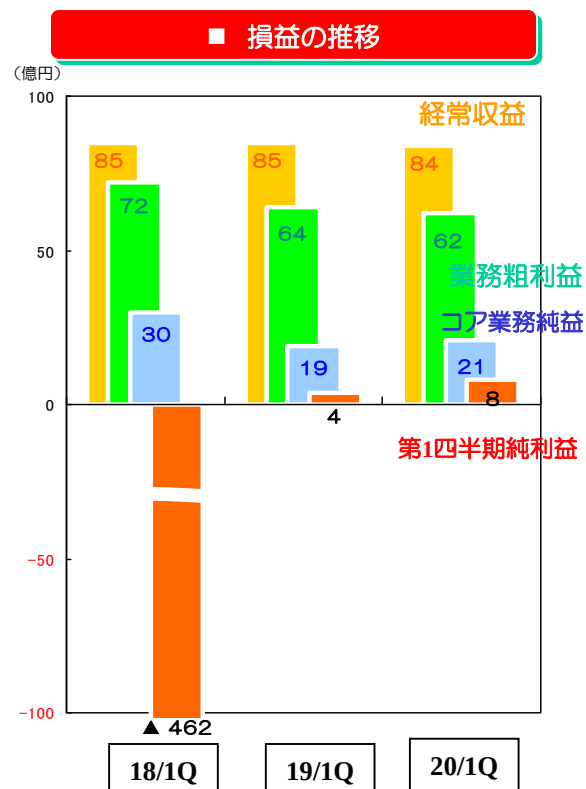
(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(21億円) = 業務純益(27億円) + 一般貸倒引当金繰入額(△6億円) - 国債等債券損益(0億円)

(注3) 【 】は、平成20年5月14日に発表した平成20年度通期の業績予想。

■業績サマリー

経常収益 84億円	年度計画進捗率 24.0%
➢ 経常収益は、役務収益の減少等を主因に前年同期比▲1億円の84億円となりました。	
コア業務純益 21億円	年度計画進捗率 22.8%
➢ コア業務純益は、役務取引等利益の減少を経費削減によりカバーしたことにより、前年同期比+2億円の21億円となりました。	
経常利益 7億円	年度計画進捗率 19.5%
➢ 経常利益は、上記コア業務純益の増加に加え、信用コストが減少したため、前年同期比+3億円の7億円となりました。	
四半期純利益 8億円	年度計画進捗率 160.0%
➢ 四半期純利益は、上記要因に加え特別利益として償却債権取立益1億円を計上したため、前年同期比+4億円の8億円となりました。	



親和銀行単体

(単位:億円)

	平成20年度 第1四半期	平成19年度 第1四半期	前年同期比	(参考) 平成20年3月期
経常収益【490】	133	141	△8	551
業務粗利益	83	111	△28	371
資金利益	80	95	△15	355
役務取引等利益	12	15	△3	55
その他業務利益	△8	1	△9	△38
うち国債等債券損益	△0	△0	0	△31
うち外為売買損益	0	0	0	1
うち金融派生商品損益	△9	1	△10	△8
経費(除く臨時処理分)	68	70	△2	275
① 一般貸倒引当金繰入額	△32	—	△32	287
業務純益	47	40	7	△191
コア業務純益【105】	15	41	△26	128
臨時損益等	△41	△22	△19	△775
② 不良債権処理額	50	18	32	705
(信用コスト①+②-③)	(7)	(16)	(△9)	(968)
株式等関係損益	11	0	11	△46
その他臨時損益等	△2	△4	2	△24
経常利益【40】	6	18	△12	△965
特別損益	10	1	9	△40
③ うち償却債権取立益	11	2	9	24
税引前四半期(当期)純利益	16	20	△4	△1,005
四半期(当期)純利益【30】	16	8	8	△1,024

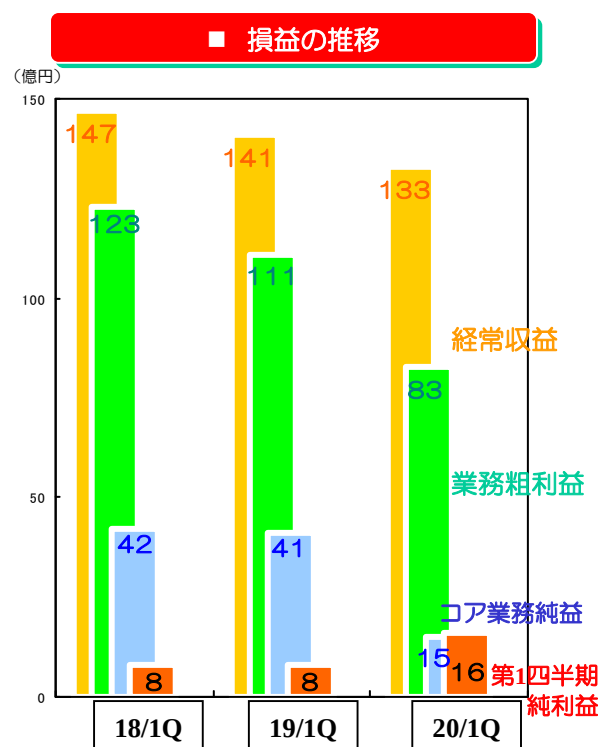
(注1) 記載金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

(注2) コア業務純益(15億円) = 業務純益(47億円) + 一般貸倒引当金繰入額(△32億円) - 国債等債券損益(△0億円)

(注3) 【 】は、平成20年5月14日に発表した平成20年度通期の業績予想。

■業績サマリー

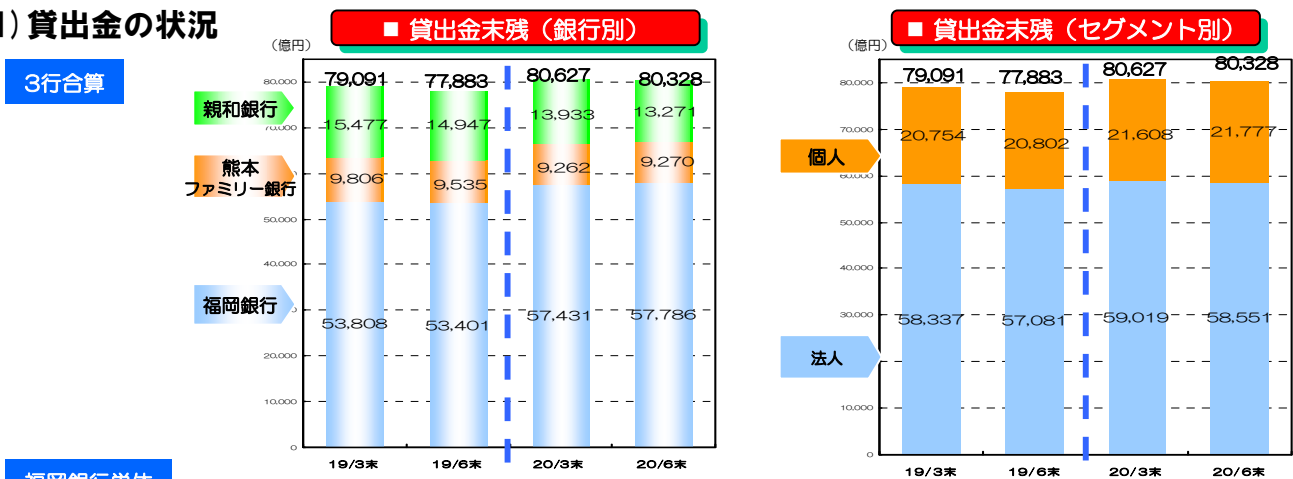
経常収益 133億円 年度計画進捗率 27.2% ➤ 経常収益は、貸出金利息の減少等を主因に前年同期比▲8億円の133億円となりました。	
コア業務純益 15億円 年度計画進捗率 14.4% ➤ コア業務純益は、資金利益の減少や仕組ローンの評価損計上を主因に前年同期比▲26億円の15億円となりました。	
経常利益 6億円 年度計画進捗率 15.0% ➤ 経常利益は、株式売却益計上等により前年同期比▲12億円の6億円となりました。	
四半期純利益 16億円 年度計画進捗率 54.0% ➤ 四半期純利益は、上記要因に加え特別利益として償却債権取立益11億円を計上したため、前年同期比+8億円の16億円となりました。	



2. 資産・負債等の状況

㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第1四半期決算短信

(1) 貸出金の状況



福岡銀行単体

- 総貸出金は、20/3末比+355億円増加し、57,786億円（前年同期比+4,385億円、年率+8.2%）となりました。
- 部門別では、個人部門が20/3末比+123億円（前年同期比+615億円、年率+4.1%）の15,444億円、法人部門は同+231億円（同+3,770億円、年率+9.8%）の42,342億円となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総貸出金は、20/3末比+8億円増加し、9,270億円（前年同期比▲265億円、年率▲2.8%）となりました。
- 部門別では、個人部門が20/3末比+46億円（前年同期比+146億円、年率+5.1%）の2,997億円、法人部門は同▲38億円（同▲411億円、年率▲6.1%）の6,273億円となりました。

親和銀行単体

- 総貸出金は、不良債権のオフバランス化や公共公社向け貸出金の減少等により、20/3末比▲662億円減少し、13,271億円（前年同期比▲1,676億円、年率▲11.2%）となりました。
- 部門別では、個人部門が20/3末横這いの3,336億円（前年同期比+214億円、年率+6.8%）、法人部門は20/3末比▲663億円（同▲1,890億円、年率▲16.0%）の9,935億円となりました。

(単位:億円)

		20年6月末				20年3月末	19年6月末	19年3月末
		(年率: %)	20/3末比	19/6末比				
3行合算	貸出金	(3.1%)	80,328	△ 299	2,445	80,627	77,883	79,091
	個人部門	(4.7%)	21,777	169	975	21,608	20,802	20,754
	法人部門	(2.6%)	58,551	△ 468	1,470	59,019	57,081	58,337
	ローン残高	(5.6%)	20,275	225	1,066	20,050	19,209	19,061
	うち住宅ローン	(7.0%)	18,472	292	1,211	18,180	17,261	17,053
福岡銀行	中小企業等貸出金比率	—	73.1%	△ 0.7%	△ 3.7%	73.8%	76.8%	76.8%
	貸出金	(8.2%)	57,786	355	4,385	57,431	53,401	53,808
	個人部門	(4.1%)	15,444	123	615	15,321	14,829	14,789
	法人部門	(9.8%)	42,342	231	3,770	42,111	38,572	39,019
	県内貸出金	(7.7%)	45,625	216	3,250	45,409	42,375	43,022
熊本ファミリー銀行	ローン残高	(4.3%)	15,181	143	619	15,038	14,562	14,501
	うち住宅ローン	(5.0%)	13,935	175	660	13,760	13,275	13,188
	中小企業等貸出金比率	—	69.5%	△ 1.0%	△ 4.1%	70.5%	73.6%	73.2%
	貸出金	(△ 2.8%)	9,270	8	△ 265	9,262	9,535	9,806
	個人部門	(5.1%)	2,997	46	146	2,951	2,851	2,879
親和銀行	法人部門	(△ 6.1%)	6,273	△ 38	△ 411	6,311	6,684	6,927
	県内貸出金	(9.8%)	8,082	58	721	8,024	7,361	7,513
	ローン残高	(6.5%)	2,536	64	155	2,472	2,381	2,354
	うち住宅ローン	(9.2%)	2,323	75	195	2,248	2,128	2,086
	中小企業等貸出金比率	—	89.6%	△ 1.1%	△ 0.3%	90.7%	89.9%	90.4%
親和銀行	貸出金	(△ 11.2%)	13,271	△ 662	△ 1,676	13,933	14,947	15,477
	個人部門	(6.8%)	3,336	0	214	3,336	3,122	3,086
	法人部門	(△ 16.0%)	9,935	△ 663	△ 1,890	10,598	11,825	12,391
	県内貸出金	(△ 4.4%)	8,758	△ 446	△ 403	9,204	9,161	9,576
	ローン残高	(12.9%)	2,558	18	292	2,540	2,266	2,205
親和銀行	うち住宅ローン	(19.2%)	2,214	43	356	2,171	1,858	1,779
	中小企業等貸出金比率	—	76.9%	0.4%	△ 3.2%	76.5%	80.1%	80.6%

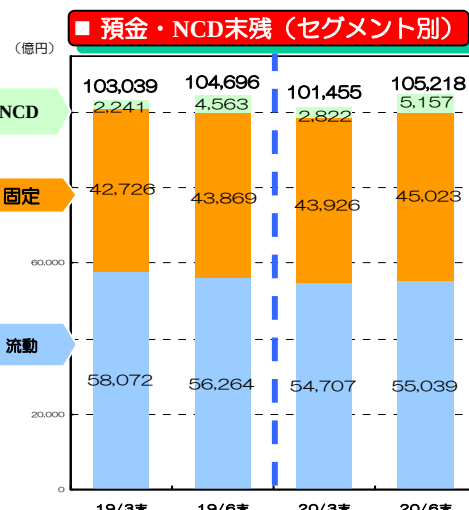
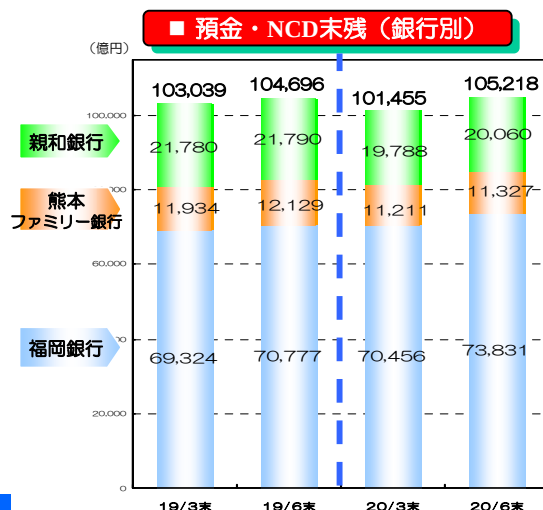
(注1) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金（20年6月末・20年3月末 700億円）及び熊本ファミリー銀行向け貸出金（20年6月末・20年3月末・19年6月末・19年3月末 100億円）を含んでおります。

(注2) 中小企業等貸出金比率は、特別国際金融取引動向を除き算出しております。

(2) 預金の状況

㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第1四半期決算短信

3行合算



福岡銀行単体

- 総資金（預金+NCD）は、20/3末比+3,375億円増加し、73,831億円（前年同期比+3,054億円、年率+4.3%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、20/3末比+1,728億円（前年同期比+2,384億円、年率+5.0%）、法人預金は同▲211億円（同+178億円、年率+0.9%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総資金は、20/3末比+116億円増加し、11,327億円（前年同期比▲802億円、年率▲6.6%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、20/3末比+94億円（前年同期比▲224億円、年率▲2.5%）、法人預金は同+22億円（同▲418億円、年率▲14.1%）となりました。

親和銀行単体

- 総資金は、20/3末比+272億円増加し、20,060億円（前年同期比▲1,730億円、年率▲7.9%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、20/3末比▲70億円（前年同期比▲1,011億円、年率▲6.8%）、法人預金は同▲135億円（同▲981億円、年率▲15.7%）となりました。

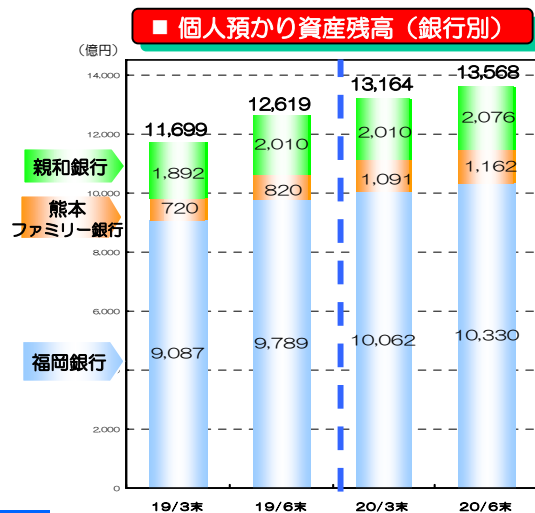
（単位：億円）

		20年6月末 (年率:%)			20年3月末	19年6月末	19年3月末
3行合算	個人預金	(1.6%)	72,697	1,752	1,148	70,945	71,549
	法人預金	(△ 4.3%)	27,364	△ 324	△ 1,220	27,688	28,584
	合計	(△ 0.1%)	100,062	1,429	△ 71	98,633	100,133
	流動性	(△ 2.2%)	55,039	332	△ 1,225	54,707	56,264
	固定性	(2.6%)	45,023	1,097	1,154	43,926	42,726
	総資金（預金+NCD）	(0.5%)	105,218	3,763	522	101,455	104,696
福岡銀行	個人預金	(5.0%)	50,038	1,728	2,384	48,310	47,654
	法人預金	(0.9%)	19,564	△ 211	178	19,775	19,386
	合計	(3.8%)	69,602	1,517	2,562	68,085	67,040
	流動性	(0.1%)	42,034	329	23	41,705	42,011
	固定性	(10.1%)	27,568	1,188	2,538	26,380	25,030
	福岡県内預金	(4.1%)	65,557	1,987	2,566	63,570	62,991
熊本ファミリー銀行	個人預金	(△ 2.5%)	8,778	94	△ 224	8,684	9,002
	法人預金	(△ 14.1%)	2,549	22	△ 418	2,527	2,967
	合計	(△ 5.4%)	11,327	116	△ 642	11,211	11,969
	流動性	(0.2%)	4,188	117	8	4,071	4,180
	固定性	(△ 8.3%)	7,139	△ 1	△ 650	7,140	7,789
	熊本県内預金	(△ 2.7%)	10,371	138	△ 292	10,233	10,663
親和銀行	個人預金	(△ 6.8%)	13,881	△ 70	△ 1,011	13,951	14,892
	法人預金	(△ 15.7%)	5,251	△ 135	△ 981	5,386	6,232
	合計	(△ 9.4%)	19,132	△ 205	△ 1,992	19,337	21,124
	流動性	(△ 12.5%)	8,816	△ 115	△ 1,257	8,931	10,073
	固定性	(△ 6.7%)	10,316	△ 90	△ 735	10,406	11,051
	長崎県内預金	(△ 2.9%)	15,648	422	△ 465	15,226	16,113
総資金（預金+NCD）		(△ 7.9%)	20,060	272	△ 1,730	19,788	21,790

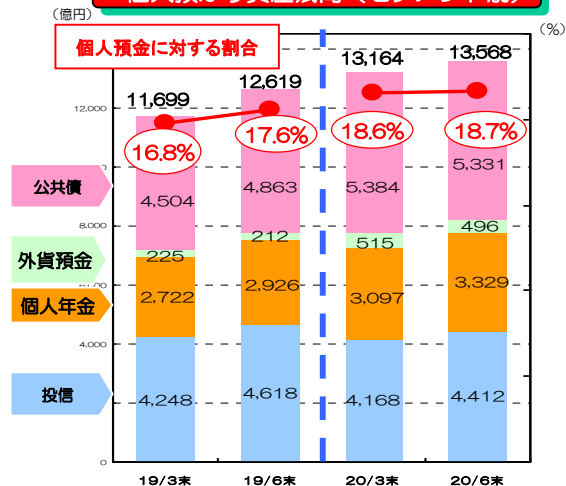
(3) 資産運用商品の状況

㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第1四半期決算短信

3行合算



■ 個人預かり資産残高（セグメント別）



福岡銀行単体

- 個人預かり資産（投資信託、個人年金、外貨預金、公共債）の残高は、20/3末比+268億円増加し、10,330億円（前年同期比+541億円、年率5.5%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 個人預かり資産の残高は、20/3末比+71億円増加し、1,162億円（前年同期比+342億円、年率41.6%）となりました。

親和銀行単体

- 個人預かり資産の残高は、20/3末比+66億円増加し、2,076億円（前年同期比+66億円、年率3.3%）となりました。

(単位:億円)

		20年6月末 (年率: %)			
			20/3末比	19/6末比	
3行合算	投資信託	(△ 4.5%)	4,412	244	△ 206
	個人年金保険	(13.8%)	3,329	232	403
	外貨預金	(134.0%)	496	△ 19	284
	公共債	(9.6%)	5,331	△ 53	468
	合 計	(7.5%)	13,568	404	949
	個人預金に占める割合	—	18.7%	0.1%	1.1%
福岡銀行	投資信託	(△ 5.2%)	3,228	194	△ 177
	個人年金保険	(5.5%)	2,257	161	117
	外貨預金	(104.5%)	425	△ 27	217
	公共債	(9.5%)	4,420	△ 60	384
	合 計	(5.5%)	10,330	268	541
	個人預金に占める割合	—	20.6%	△ 0.2%	0.1%
熊本ファミリー銀行	投資信託	(5.0%)	397	23	19
	個人年金保険	(69.8%)	522	36	215
	外貨預金	(2217.8%)	64	4	61
	公共債	(35.2%)	180	9	47
	合 計	(41.6%)	1,162	71	342
	個人預金に占める割合	—	13.2%	0.6%	4.1%
親和銀行	投資信託	(△ 5.8%)	787	28	△ 48
	個人年金保険	(15.0%)	550	34	71
	外貨預金	(413.9%)	7	4	6
	公共債	(5.4%)	732	△ 1	38
	合 計	(3.3%)	2,076	66	66
	個人預金に占める割合	—	15.0%	0.6%	1.5%

20年3月末	19年6月末	19年3月末
4,168	4,618	4,248
3,097	2,926	2,722
515	212	225
5,384	4,863	4,504
13,164	12,619	11,699
18.6%	17.6%	16.8%
3,034	3,405	3,155
2,096	2,140	1,980
452	208	221
4,480	4,036	3,731
10,062	9,789	9,087
20.8%	20.5%	19.7%
374	378	326
486	307	268
60	3	3
171	133	123
1,091	820	720
12.6%	9.1%	8.2%
759	835	767
516	479	474
3	1	1
733	694	649
2,010	2,010	1,892
14.4%	13.5%	12.8%

(4) 時価のある有価証券の評価差額金

㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第1四半期決算短信

FFG連結

- 時価のある有価証券残高は、20/3末比+456億円増加し、23,258億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、20/3末比▲107億円減少し、163億円となりました。

福岡銀行連結

- 時価のある有価証券残高は、20/3末比+410億円増加し、15,290億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、20/3末比▲70億円減少し、227億円となりました。

熊本ファミリー銀行連結

- 時価のある有価証券残高は、20/3末比+7億円増加し、2,236億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、20/3末比▲5億円減少し、▲23億円となりました。

親和銀行連結

- 時価のある有価証券残高は、20/3末比+37億円増加し、5,752億円となりました。
- 有価証券評価差額(含み損益)は、20/3末比▲35億円減少し、▲78億円となりました。

(単位:億円)

		20年6月末								20年3月末		19年6月末	
		時 価	20/3末比	19/6末比	評価差額	うち評価益	うち評価損	20/3末比	19/6末比	時価	評価差額	時価	評価差額
FFG連結	その他有価証券	23,258	456	3,624	163	572	409	△ 107	△ 447	22,802	270	19,634	610
	株式	1,402	77	△ 224	455	513	58	△ 110	△ 358	1,325	345	1,626	813
	債券	15,672	△ 17	3,452	△ 207	16	223	△ 168	△ 26	15,689	△ 39	12,220	△ 181
	国債	7,217	△ 312	452	△ 176	8	184	△ 77	△ 37	7,529	△ 99	6,765	△ 139
	地方債	567	121	196	△ 2	1	2	△ 6	2	446	4	371	△ 4
	社債	7,888	173	2,804	△ 30	7	37	△ 86	8	7,715	56	5,084	△ 38
	その他	6,184	396	395	△ 85	43	128	△ 48	△ 63	5,788	△ 37	5,789	△ 22
	その他	6,184	396	395	△ 85	43	128	△ 48	△ 63	5,788	△ 37	5,789	△ 22
福岡銀行連結	その他有価証券	15,290	410	△ 2,165	227	549	322	△ 70	△ 422	14,880	297	17,455	649
	株式	1,049	75	△ 499	458	502	44	73	△ 383	974	385	1,548	841
	債券	8,272	△ 56	△ 1,847	△ 155	6	161	△ 91	15	8,328	△ 64	10,119	△ 170
	国債	2,309	△ 130	△ 3,009	△ 135	1	135	△ 25	△ 4	2,439	△ 110	5,318	△ 131
	地方債	250	△ 7	△ 114	△ 0	0	1	△ 2	4	257	2	364	△ 4
	社債	5,713	80	1,276	△ 20	5	25	△ 64	16	5,633	44	4,437	△ 36
	その他	5,969	391	181	△ 76	40	116	△ 52	△ 54	5,578	△ 24	5,788	△ 22
	その他	5,969	391	181	△ 76	40	116	△ 52	△ 54	5,578	△ 24	5,788	△ 22
熊本ファミリー銀行連結	その他有価証券	2,236	7	△ 82	△ 23	13	36	△ 5	△ 19	2,229	△ 18	2,318	△ 4
	株式	133	12	△ 83	△ 10	7	17	12	△ 30	121	△ 22	216	20
	債券	2,103	△ 4	2	△ 13	6	19	△ 17	11	2,107	4	2,101	△ 24
	国債	1,437	△ 13	△ 9	△ 12	4	16	△ 12	8	1,450	0	1,446	△ 20
	地方債	8	△ 1	1	0	0	0	0	0	9	0	7	0
	社債	658	9	10	△ 1	2	2	△ 5	3	649	4	648	△ 4
	その他	1	0	0	0	0	-	0	0	1	0	1	0
	その他	1	0	0	0	0	-	0	0	1	0	1	0
親和銀行連結	その他有価証券	5,752	37	98	△ 78	36	114	△ 35	△ 105	5,715	△ 43	5,654	27
	株式	236	△ 11	△ 175	11	32	20	18	△ 83	247	△ 7	411	94
	債券	5,302	44	420	△ 78	2	80	△ 57	△ 13	5,258	△ 21	4,882	△ 65
	国債	3,471	△ 169	△ 145	△ 66	1	67	△ 37	△ 9	3,640	△ 29	3,616	△ 57
	地方債	309	129	6	△ 2	0	2	△ 2	0	180	0	303	△ 2
	社債	1,522	84	559	△ 10	1	10	△ 17	△ 4	1,438	7	963	△ 6
	その他	214	5	△ 147	△ 11	3	14	4	△ 9	209	△ 15	361	△ 2
	その他	214	5	△ 147	△ 11	3	14	4	△ 9	209	△ 15	361	△ 2

(注1) 19年6月末の「FFG連結」の数値には、「親和銀行連結」の数値は含まれておりません。

(注2) 上記の20年6月末および19年6月末の「評価差額」は、各月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
 なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループが保有する有価証券の減損判定基準を、金融環境の変化等をふまえて、一部改定しております。
 従来は、その他有価証券で時価のあるもののうち、時価が取得価額の30%以上下落した銘柄については全て当該時価をもって連結貸借対照表価額とする
 とともに、評価差額を当連結会計年度の損失として処理(減損処理)していましたが、当第1四半期連結会計期間より時価が30%以上50%未満下落し
 た銘柄については、債務者区分や時価推移によって時価の回復可能性を総合的に判断する基準を設け、回復する見込みがあると認められないものについて
 減損処理を行っております。また、一定の債務者区分以下の銘柄については、時価が取得原価に比べて30%未満の下落であっても、減損処理を行って
 おります。この変更により、当社の当第1四半期連結会計期間の有価証券の減損額は、269百万円減少しております。

(注3) 満期保有目的の債券に係る含み損益は、以下のとおりであります。

(単位:億円)

	20年6月末								20年3月末		19年6月末	
	帳簿価額	20/3末比	19/6末比	含み損益	うち評価益	うち評価損	20/3末比	19/6末比	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
FFG連結	968	908	908	3	3	0	3	3	60	△0	60	△0
福岡銀行連結	968	908	908	3	3	0	3	3	60	△0	60	△0
熊本ファミリー銀行連結	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
親和銀行連結	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

㈱ふくおかフィナンシャルグループ(8354)平成21年3月期 第1四半期決算短信

3行合算+分割子会社

【部分直接償却後】

■開示債権残高（各子銀行の部分直接償却後の残高を合算しております。）

単位:億円

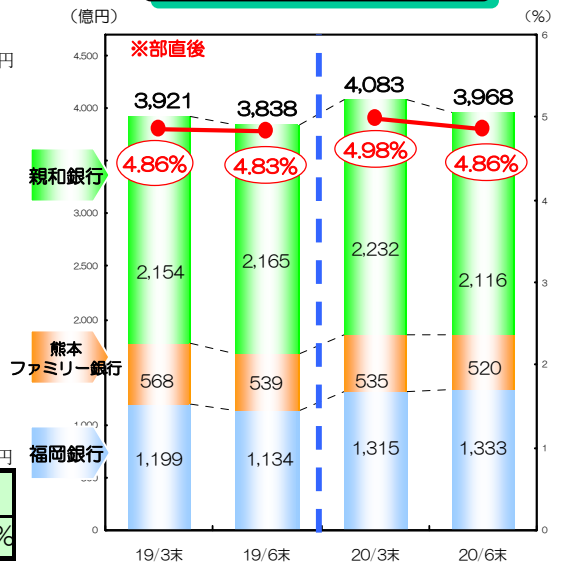
	20年6月末	20/3末比	19/6末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	644	78	△ 207
危険債権	1,889	△ 94	△ 46
要管理債権	1,435	△ 99	383
①合 計（金融再生法開示債権）	3,968	△ 115	130
正常債権	77,757	△ 182	2,215
②総与信残高	81,726	△ 295	2,346
総与信に占める金融再生法開示債権 ①/②	4.86%	△0.12%	0.03%

■保全率【20年6月末】（各子銀行の部分直接償却後の計数を合算しております。）

単位:億円

	債権額	保全カバー	引当金	担保・保証等	保全率
金融再生法開示債権	3,968	3,073	1,596	1,477	77.4%

■開示不良債権残高（銀行別）



福岡銀行単体

- 金融再生法開示債権残高は、20/3末比+42億円増加し、1,498億円（前年同期比+225億円）となりました。総与信に占める開示債権の割合（不良債権比率）は、同+0.05%増加し、2.54%（同+0.20%）となりました。（部分直接償却前）

【参考】

部分直接償却を実施した場合の開示債権残高は、20/3末比+18億円増加し、1,333億円（前年同期比+199億円）となります。また不良債権比率は、同+0.02%増加し、2.27%（同+0.18%）となります。

熊本ファミリー銀行単体

- 開示債権残高は、20/3末比▲15億円減少し、520億円（前年同期比▲19億円）となりました。（部分直接償却後）

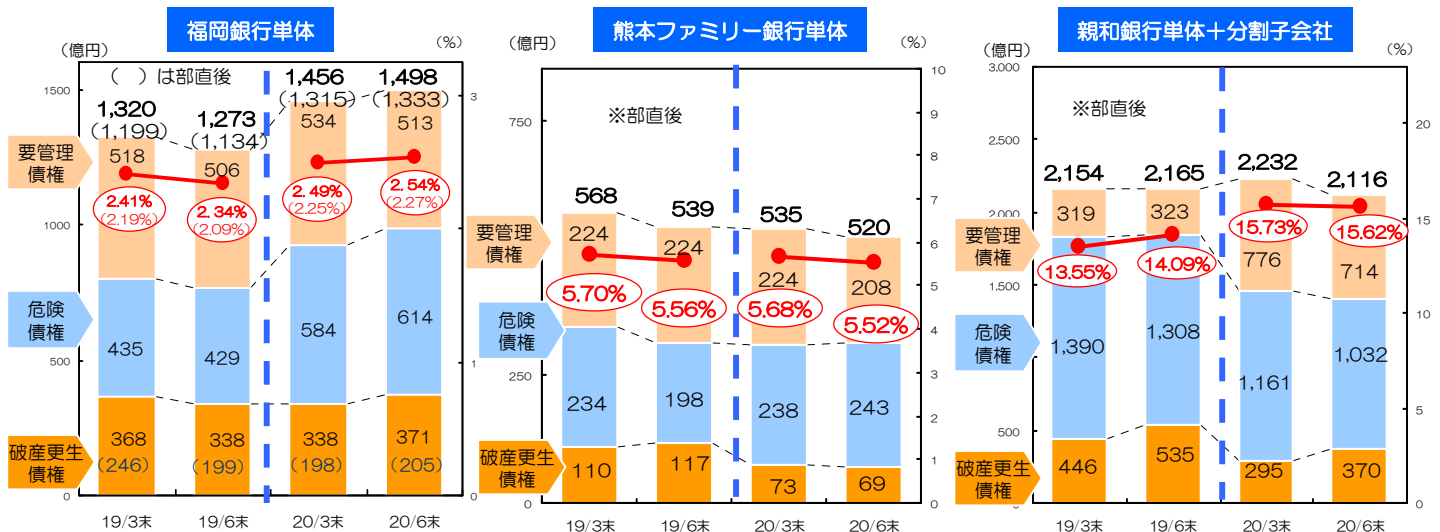
また、不良債権比率は、同▲0.16%減少し、5.52%（同▲0.04%）となりました。

親和銀行単体+分割子会社

- 開示債権残高は、20/3末比▲116億円減少し、2,116億円（前年同期比▲49億円）となりました。（部分直接償却後）

また、不良債権比率は、同▲0.11%減少し、15.62%（同+1.53%）となりました。

■開示不良債権残高・比率



(注) 上記グラフの平成20年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。また、各開示区分の金額は、平成20年3月末から同6月末までの倒産・不渡り等の客観的な事実及び各子銀行の行内格付の変動を反映させた同6月末時点での債務者格付・自己査定基準に基づく残高を記載しております。

【債務者区分との関係】

○破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・「実質破綻先」及び「破綻先」の債権

○危険債権・・・「破綻懸念先」の債権

○要管理債権・・・要注目のうち、債権毎の区分で「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権

なお、熊本ファミリー銀行及び親和銀行（分割子会社含む）の開示債権額は、部分直接償却後の金額を記載しております。福岡銀行は部分直接償却を実施していませんが、参考として（ ）内に部分直接償却を実施した場合の金額を記載しております。

4. デリバティブ取引

FFG連結

(1) 金利関連取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年6月末			20年3月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
取引所	金利先物	—	—	—	188	△ 1	△ 1
店頭	金利スワップ	5,029	12	11	4,901	12	12
	金利スワップ ション	99	1	1	181	0	2
	キャップ	490	△ 0	1	501	△ 0	1
	フロア	116	0	0	81	0	0
合 計			13	14		12	14

(注) ヘッジ会計適用分を除く

(2) 通貨関連取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年6月末			20年3月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
店頭	通貨スワップ	10,020	19	19	9,604	20	20
	為替予約	356	1	1	403	2	2
	通貨オプション	539	0	1	699	0	1
合 計			20	20		22	23

(注) ヘッジ会計適用分を除く

(3) 債券関連取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年6月末			20年3月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
取引所	債券先物	4	△ 0	△ 0	4	△ 0	△ 0
合 計			△ 0	△ 0		△ 0	△ 0

(注) ヘッジ会計適用分を除く

(4) クレジットデリバティブ取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年6月末			20年3月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ	115	△ 1	△ 1	110	△ 2	△ 2
合 計			△ 1	△ 1		△ 2	△ 2

(注) ヘッジ会計適用分を除く

(5) 複合金融商品関連取引

(単位:億円)

区分	種 類	20年6月末			20年3月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
市場取引 以外の取引	複合金融商品	365	△ 31	△ 31	315	△ 13	△ 13
合 計			△ 31	△ 31		△ 13	△ 13

(6) 株式関連取引、商品関連取引、その他

該当ございません。

5. 自己資本比率について

平成20年6月末時点の自己資本比率につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。